

天敵利用による菌床シイタケ害虫 ナガドキノコバエの防除



ナガドキノコバエ幼虫

背景と課題

生産量が全国一位となっている本県のシイタケ栽培では、ナガドキノコバエ類による被害が顕在化し、収量の減少や食害されたシイタケの選別・梱包コストの増大に生産現場では頭を悩ませています。

研究の目的

そこで、天敵線虫製剤である「バイオセーフ」による本害虫の防除技術の確立と、本製剤の農薬適用拡大のための資料の蓄積を目的に研究を進めました。

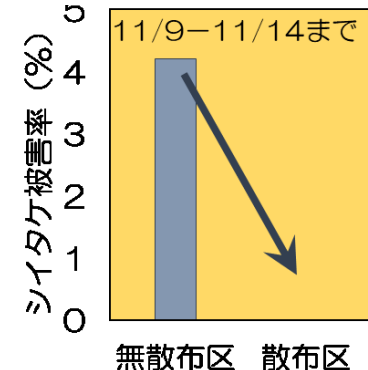
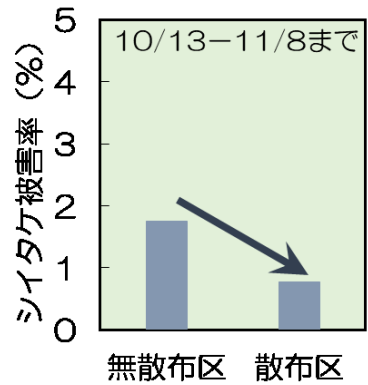
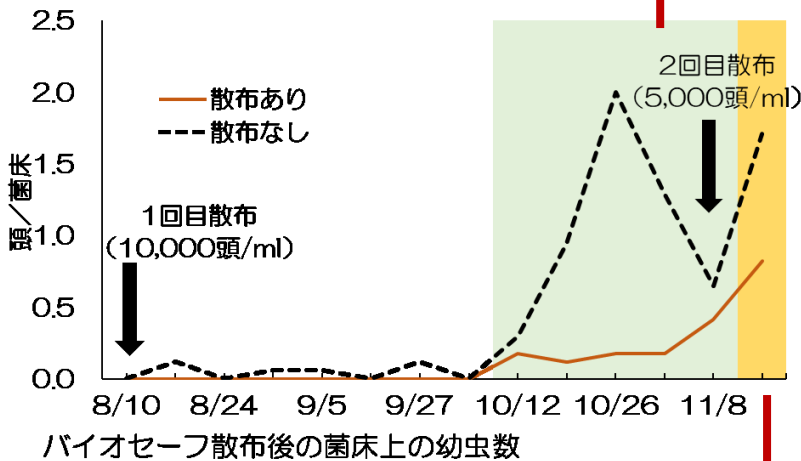


天敵線虫製剤
「バイオセーフ」

研究の内容および成果

天敵線虫製剤バイオセーフ懸濁液の菌床表面への散布により、ナガドキノコバエ類幼虫被害を無視できるレベルに抑えられることがわかりました。

- 子実体被害率を半減できます。
- 選別、梱包作業の能率を上げられます。



★本剤は令和元年9月に登録が完了、使用が可能となっています。

(研究期間：平成28年～30年；イノベーション創出強化研究推進事業)